

北海道善行賞を受賞して



上士幌町母子寡婦会

菅原 恵美

私には4人の子供がおり、母子家庭になった当時は、保育所、小学校、中学校、高校とそれぞれ通っていたため、忙しさのあまり学校行事を忘れてしまった事もあり、子供達には申し訳ない気持ちで一杯でした。

母子家庭になってすぐに友達のお母さんより母子会の入会を進められ会員になりました。高校生の

子供達には奨学金の支援を頂き本当に助かっております。

今は上の子2人が成人し、一番下の子が高校2年生になりました。私自身去年くらいから体調が思わしくなく辛い日もあります。後もう少しと自分に言い聞かせ、頑張っています。

今年北海道善行賞を受賞し、知事から直接表彰状を頂きました。知事から表彰されるとは夢にも思っていなかったのでも嬉しく、感激しました。受賞式に出席させて頂き、母子寡婦会の皆様に感謝申し上げます。



勤務先グループホームのお花見へ利用者さんと

北広島市母子寡婦ニレの会

堺 真理子

別居を始めた時、上の子は小学校1年生でしたが、私は働かなくてはいけないので、下の子はまだ2歳で急に幼稚園の年少少クラスに入ることになりました。それから離婚、引越、転校、転園と環境が目まぐるしく変わり、今考えると幼い二人にとっては不安な日々だったと思います。ただ、幸いにも実家の両親や弟家族が近くにいる、子どもの体調が悪い時などサポートしてくれたり、少しでも寂しい思いをしなくても済むようにと協力してくれましたので、本当に心強かったです。

5年前に今の職場に転職して、最初は工場勤務で重いものを持つたり、体力面での不安もあったのですが、昨年、事務を務めていた方が定年を迎えることになり、後任として事務職にいただきました。



支えてくれた両親、弟一家と実家で焼き肉。手前の二人が子ども達

した。パソコン教室にも通わせていただき、自分のスキルアップにもなり本当に有難いことです。

上の子は、今春大学生になりました。第一志望の大学に入学することが出来て家族みんなで喜びました。下の子も中学校で卓球部と生徒会の仕事を頑張っています。そんな二人の子どもの頑張りが私の励みです。この受賞を機に、これから感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思えます。

令和元年度共同募金助成金は4ブロック研修会、
広報誌発行に充当させていただきます。
ご報告し、お礼申し上げます。